



でらボラ

NAGOYA

通信

8

2015. vol.1

ご支援、
ありがとうございます！

真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク 発行

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

でらボラ☆最近の活動報告

【宮城県・福島県に訪問してきました】 日時 2015年7月22日（水）～25日（土）

今回から新メンバーとして、二十歳代の小笠原君（円周寺）と加藤君（保育士）、さらに門徒の山本さんが加わった、若者の力は偉大なり！ 朝鮮学校でも仮設でも子供たちとの距離が近い、一瞬にして（ちょっと大袈裟？）雰囲気を変えることができる。歌を歌い、踊り、遊ぶ（AKB、妖怪ウォッチ・・・）ことは、壁を叩き壊す力があると痛感した。山本さんは緊張しつつもテキパキと動いて下さり、初日に、また今度も来ますと言って下さった。私たちと訪問先の方々とのつながりがもちろん大切だけれど、私たちどうしが新たに出会いつながっていけるということがとても素敵なことだと改めて感じた。

たまたま、夏休み中の訪問になったので子供たちが多くいてくれて、生き生きとした姿に接することができた、がんごやの写真に写っている子は、進んで鍋奉行、準備をしてくれた。大野台では、いっぱい踊って、変なおじいの遊び相手もしてくれた。この子供たちがすくすくと元気に成長してくれることを願うばかりです。



紙芝居



歌って踊って



全員集合

工房地球村では、初めてお会いする方も見えたが、先ほど同様、若者の力もあり前回よりもさらに楽しかった。紙芝居の感想を一人ひとりが言って下さってうれしかった。



紙芝居の感想を皆が発表



小笠原パワーで楽しく歌う



鍋、揚げ物、焼き鳥、かき氷など

福島北幹線仮設では、福島大学の高橋君（皆さんの名前や状況を全部知っている）や、京都の関西浜通り交流会の方とも出会うことができた。前回はおじいちゃんが相馬盆歌を歌ってくださったが、今回は、おばあちゃんが、震災後に地元の方の作詞でできた「ふるさと浪江」を歌って下さってまたまた涙がでた（藤井千龍）。



「ふるさと浪江」を歌う



福島大の高橋さんも参加



鍋づくりにも慣れて

大野台の自治会長さんが、次回は法話もしてほしい（物はなんとかなるけれど、心に傷とか、悩みとか抱えている）とおっしゃった。重い宿題をいただきました。この第7仮設は南相馬の方々ですが、小高地区の20km圏内、原町の20km圏内・圏外、など違いがある。ある方は20kmラインからわずかに外なので補償がもらえない、同じ避難者同士で補償金の有無によって差が生じそれが軋轢を生み人間関係に傷をつけている。東電や国に対する姿勢も異なって一枚岩とならない、それが、東電や国にとっては好都合なのでしょうが・・・

ハハレンジャーとの会食での話。国井さんは大阪や北海道に保養に行っている。大阪では、増山麗監督（志葉玲さんの奥様）の福島の映画の試写会に招かれ、親子で壇上に上り話をした。娘（小3）のいろいろな体調不良の事などを話したが、辺野古やパレスチナなどのことを思うと、自分たちは単なる被害者なのではなくて、知らないうちにせよ加害者になっているのだという、重い言葉を聞かせていただきました。（聞き取り藤井、北條談）

【ありがとうございます！名古屋別院暁天講座 募金活動】

日時 2015年8月3日（月）～4日（火）

毎年、本堂いっぱいになるほどの参詣がある名古屋別院暁天講座で、今年も「でらボラ」の活動のご協力をお願いさせていただきました。

お一人おひとりの志に厚く御礼申し上げますとともに、募金の結果をご報告させていただきます。

〈募金の報告〉

8/3（月） 67,735 円

8/4（火） 63,504 円



以上